



## 長年 にわたり村の食育活動に貢献 令和6年度「県民健康づくり表彰」

2月12日に茨城県庁で開催された令和6年度県民健康づくり表彰式において、健康づくり推進事業功労者表彰保健医療部長賞を受賞した飛田公子さん(石神内宿)と、茨城県食生活改善推進員協議会長賞を受賞した山路昭雄さん(村松)が、3月17日、山田村長を訪れました。長年、ヘルスメイトとして活動し、地域の健康づくり活動に貢献してきたことが評価され、今回の受賞に至ったお二人。「これからも食事の大切さを子どもたちや地域の方々に伝えていきたいです」「ヘルスメイトの活動を続けてきたことで、素晴らしい出会いやつながりができました」と話してくれました。



## 社内DXのために開発したシステムを販売・展開 「DXセレクション2025」準グランプリを受賞

4月8日、株式会社ヒバラコーポレーション(村松)の小田倉久視代表取締役社長が山田村長を表敬訪問し、経済産業省がモデルケースとなる優良事例を選定・表彰する「DXセレクション」準グランプリの受賞を報告しました。「県内初の受賞をうれしく思います。今後も社内DXでの実践を重ね、その成果をソリューションメニューにつなげていきます。これからも、時代に合った柔軟な生産システムを創造し、サステナブルな企業として社会に貢献していきたいです」と抱負を述べた小田倉社長。村では、本村の地域経済をけん引する地元企業やスタートアップを引き続き応援していきます。

## 茨城大学生が「学生地域づくり・交流大賞」の大賞受賞！

ほしいも残渣の有効活用に向けた活動が評価され一般社団法人全国農協観光協会の第5回「学生地域づくり・交流大賞」で大賞を受賞した「茨城大学干し芋の残渣削減プロジェクト」のメンバー5人が、4月4日、山田村長を訪れました。同プロジェクトは、環境負荷軽減の観点から、ほしいもの生産過程で出る未利用部分(残渣=はしっぽ)に着目。村の補助金も活用し、はしっぽ料理・キャラクターコンクールの開催や、企業・商店と協力し「はしっぽアイス」「はしっぽポタージュ」など12のメニューの考案・製品化などを行いました。代表の森田琴弓さん(3年)は、「受賞は大変うれしいです。課題は活動の周知拡大と食品ロス意識の向上。今後、アイダホなど海外にも「はしっぽ」の輪を広げていきたいです」と意気込みを話しました。

